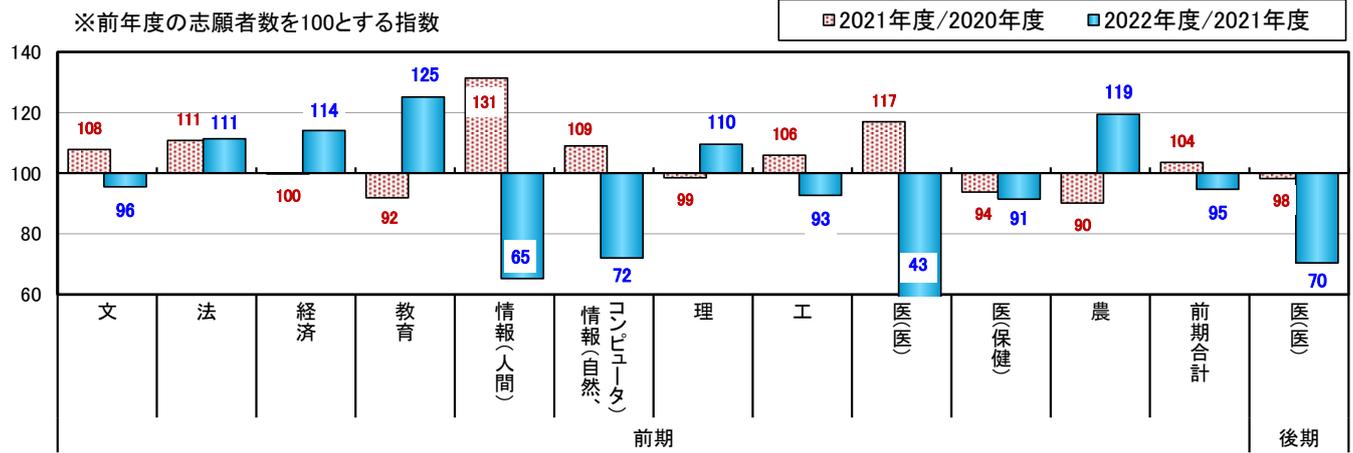


名古屋大：前期は文系はやや増加、理系は減少

前期：-242人 後期：-16人



主な入試変更点	2段階選抜実施：医(医)〈前〉…共通テストの成績が900点満点中700点以上の者 第1段階選抜基準変更：医(医)〈後〉…12倍(通過予定人数：60人) →共通テストの成績が900点満点中700点以上の者 個別試験：農〈前〉…数+理2+外→国+数+理2+外 ※国語(現代文)追加
---------	---

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は242人(95)のやや減少。文理別では、文系は65人(105)のやや増加、理系は307人(91)の減少。後期は医(医)(愛知県内枠)のみの募集だが、第1段階選抜を志願倍率による選抜から基準点による選抜への変更を行ったが、共通テストの大幅難化による志望者の得点ダウンにより、基準点をクリアできなかった志望者がいた影響が大きく、16人(70)の大幅減少。

＜前期日程＞

- 文(96)は、前年度増加の反動でやや減少。
- 法(111)は、増加で2年連続増加。
- 経済(114)は、3年連続減少の反動で増加。
- 教育(125)は、2年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率も2.7倍→3.3倍にアップ。
- 情報(70)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(自然情報)(56)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少、(人間・社会情報)(65)は大幅減少で前年度の反動による増減が継続、(コンピュータ科学)(88)は減少で2年連続減少。
- 理(110)は、増加で4年ぶりに増加に転じた。
- 工(93)は、やや減少で前年度の反動による増減が継続。学科別では、(電気電子情報工)(116)が前年度減少の反動、(物理工)(115)は2年連続でいずれも大幅増加。一方で、他の5学科は減少。特に、(エネルギー理工)(52)は前年度大幅増加の反動で半減に近い大幅減少。
- 医(医)(43)は、前年度大幅増加の反動と、新規に基準点による第1段階選抜を導入したが、共通テストの大幅難化による志望者の得点ダウンにより、基準点をクリアできなかった志望者がいた影響が大きく大幅減少。志願者数は200人近く減少し、志願倍率も3.8倍→1.7倍にダウン。
- 医(保健)(91)は、減少で2年連続減少。専攻別では、(保健/検査技術科学)(116)は大幅増加、(保健/看護)(104)はやや増加。一方で、(保健/放射線技術)(68)は30%以上の大幅減少、(保健/作業療法)(84)も大幅減少、(保健/理学療法)(89)は減少。
- 農(119)は、個別試験の科目負担増にもかかわらず、大幅増加で4年ぶりの増加。学科別では、(応用生命科学)(125)は大幅増加。(資源生命科学)(113)は前年度大幅減少の反動、(生物環境科学)(113)は4年連続減少の反動でいずれも増加。